



ENDURANCE

hi-POWER CAMSHAFT

ED14100-K26-A01,A02,A3

安全上の注意事項

ご使用になる前に必ずお読みください。



危険

：怠ると怪我・事故につながる要注意事項を示してあります。



注意

：怠ると部品の損傷などにつながる要注意事項を示してあります。

参考

：スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。



警告

3. 商品の分解・加工・改造の禁止。

商品の機能が損なわれ、故障等により部品破損が原因で、転倒により怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

4. ガasket・Oリングなど消耗品等は必ず新品に交換すること。

オイル漏れ等の原因になり、オイルに乗って転倒し怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

6. 組み立て時に指示指定以外の加工・改造は行わないこと。

破損の原因となり、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

7. 指定商品との組み合わせ以外での組み立ては行わないこと。

破損の原因となり、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

8. 各取り付けボルト及びナットは、必ず走行前に締め付けの確認をしてください。

ボルト及びナットの破損や緩みの原因となり、部品の脱落等によって怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

9. エンジン始動の際は、排気の良い所で行うこと。

排気ガスにより一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

10. エンジンが完全に冷えてから作業をすること。

エンジン回転中や停止後はしばらくの間エンジン及びマフラーは高温になっています。

・近くにガソリンなどの危険物や可燃物を絶対に置かないこと。

火災の原因になります。

・絶対に人や動物等が触れない場所に止めること。

火災の原因になります。



注意

1. 作業の際は必ず水平な場所で車体を安定させること。作業中、車体は倒れて怪我をする恐れがあります。

2. メンテナンスを頻繁に行うこと。トラブルを未然に防ぐため、定期点検をおこなってください。

3. オイルの量をこまめにチェックをすること。トラブルを未然に防ぐため、定期点検をおこなってください。



注意

慣らし運転中は、急発進・急加速などの重負荷の掛かる走行は行わないでください。

■慣らし運転終了後、エンジンオイルの交換と、異音等が無いことを確認します。

異音がでている場合は、再度エンジンを点検します。

参考

エンジンオイルは、本書指定 HONDA 純正オイルウルトラG1をご使用ください。

取り付けの際には、他のパーツとの干渉等を充分確認のうえ作業を行ってください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※本商品はレース用部品ですので、一切の保証はお受けできませんのであらかじめご了承ください。

交換・工賃を含む一切の費用も保証はお受けできませんのであらかじめご了承ください。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認のうえご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●適合車種 GROM, MONKEY125, SUPERCUB C125

※上記以外の車種には絶対に使用しないでください。



ENDURANCE

hi-POWER CAMSHAFT

取扱説明書

ED14100-K26-A01,A02,A03

このたびは本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて正しい取り扱い方法により
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読してください。
- 作業中は本書を手元の置き、指示に従って作業を進めてください。
- 本書は商品を廃棄するまで確実に保管してください。

ご使用の前に必ずお読みください。

- 本書は、取り付けにおける注意事項等を述べたものです。
本商品を取り付ける場合は、図を参考に作業をしてください。
- 本商品はレース用部品ですので一般公道での走行は絶対に行わないでください。
- 本書は、国家検定整備士資格を持った方を対象にしています。整備士資格をお持ちでない方は、
信頼のおけるお店に取り付けを依頼してください。
- 弊社の指定する部品以外を使用した場合、本来の性能を発揮することが難しくなります。
- 取り付け前に本商品を洗浄油・パーツクリーナー等で洗浄してください。
- エンジンを取り外して作業を行う場合は、エンジンスタンドを使用してください。
- 本商品組み付け後、エンジンオイルは新品を注入してください。
エンジンオイルは、HONDA 純正オイルを使用してください。
- 使用燃料は、レギュラーガソリンです。
- オイル消費が多くなる傾向にありますので、走行前に必ずオイル量のチェック行ってください。
オイルが消費している場合には、必ず補給してから走行してください。
- 本商品は適合車種の専用商品です。他車種には取り付けることはできません。

●保証について

※本商品はレース専用部品になりますので、いかなる場合でも一切の保証はありませんのでご了承ください。

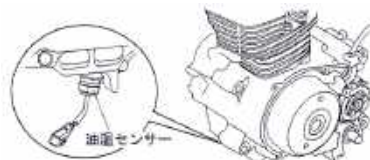
取り付けについて

以下に記載されている項目は、本商品取り付けにおける注意事項等を述べたものです。
図を参考に組み込んでください。本商品に含まれていない部品は、再度使用します。
再使用するパーツにキズ、ヘタリ、磨耗の劣化が著しい場合は新品と交換してください。



注意

エンジンを取り外して作業を行うときは、エンジンスタンドを使用してください。油温センサーがオイルパンに取り付けられた状態で、床に直接エンジンを置きますと、油温センサーが破損する恐れがあります。



●分解の前に

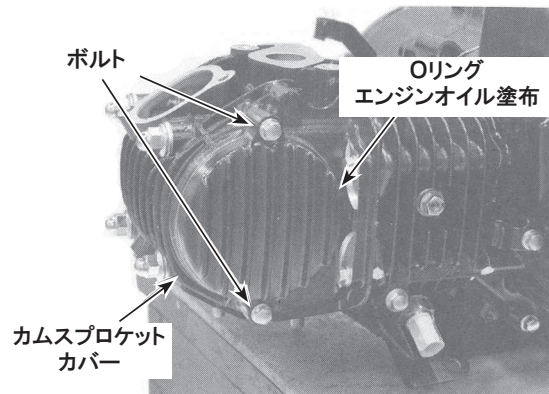
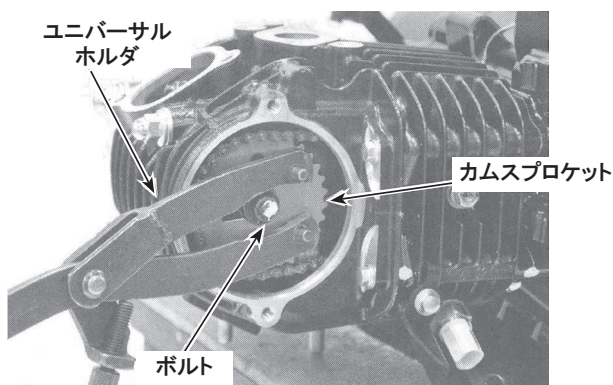
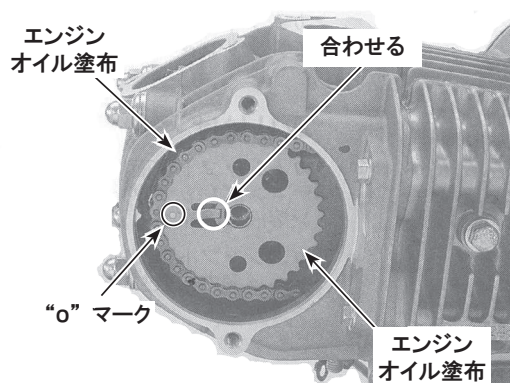
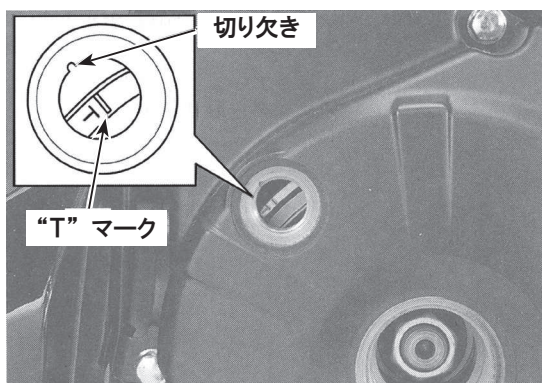
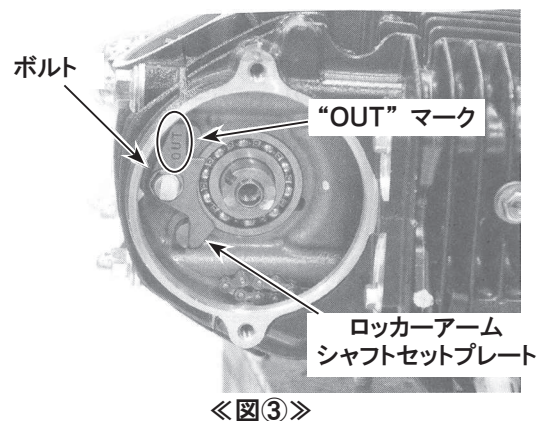
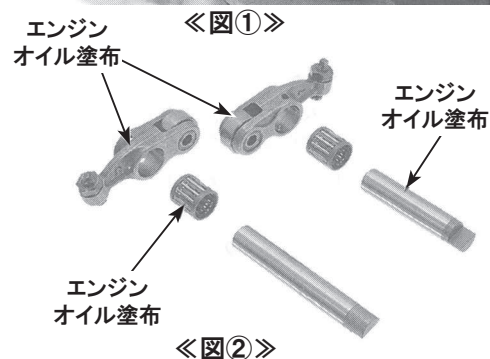
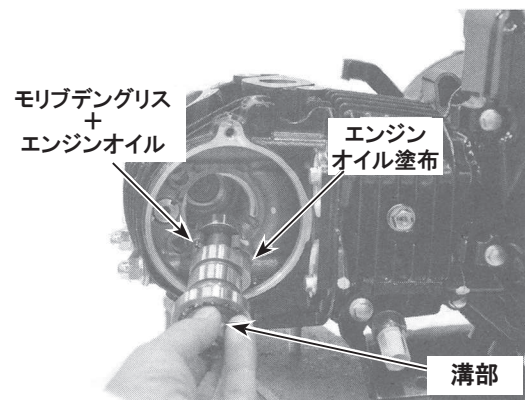
- 車両のサービスマニュアルを参照にしてSTDカムシャフトの取り外しをします。

●カムシャフト取り付けの前に

STDカムシャフトについているデコンプ機構を取り外して、本商品に取り付けします。デコンプ機構の
入れ替え作業は、かなり高度な技術を要しますので、専門の業者もしくは弊社に依頼してください。
(※別途、作業料金がかかります。)

●カムシャフトの取り付け

1. カムシャフト全面にエンジンオイルと塗布し、デコンプレッサウエイト、アーム摺動部にモリブデン溶液を塗布します。(図①)
※モリブデン溶液＝モリブデングリリス＋エンジンオイル（1：1）
2. カムシャフトの溝部が図のように上向きになるようにしてカムシャフトを取り付けます。(図①)
3. ロッカーアームシャフト摺動面とニードルベアリングにエンジンオイルを塗布し、ロッカーアームの内面とローラーの摺動部にもエンジンオイルを塗布します。(図②)
※ロッカーアームシャフトは長い方がエキゾースト側です。
4. ロッカーアーム、ニードルベアリング、ロッカーアームシャフトをシリンダーヘッド内に取り付けます。“OUT”マークを図のように外向きにしてロッカーアームセットプレートを取り付け、締め付けます。(図③)
5. フライホイールの“T”マークがクランクケースカバーの印と合うまで、クランクシャフトを反時計回りに回します。(図④)
6. カムチェーン全周とカムスプロケットの歯面にエンジンオイルを塗布します。カムスプロケットをカムチェーンにセットし、“o”マークを図のように外向きになるようにして取り付けます。(図⑤)
7. カムスプロケットワッシャボルトのネジ部と座面にエンジンオイルを塗布します。カムスプロケットワッシャボルトを取り付けて、専用工具を使用して規定トルクで締め付けます。(図⑥)
※規定トルク：27 N・m
8. スプロケットカバーを取り付けて、ボルトを締め付けます。
9. バルブクリアランスを点検します。
IN側：0.13±0.02mm、EX側：0.20±0.02mm
10. 残りの工程は取り外した逆の手順で、車両のサービスマニュアルを参考にして組み立てていきます。



●各部の点検

■本商品を取り付けた後は、下記の項目に沿って点検を行ってください。

- ・エンジンオイルの量
- ・各部の締め付け（ボルト、ナットの締め忘れがないか点検します。）
- ・オイル漏れ、異音の有無と油圧（エンジン始動させ、異音がないかオイル漏れがないか点検します。エンジンの始動と油圧の点検は、下記の「エンジンの始動について」を参照してください。）
- ・その他、走行するにあたりタイヤの空気圧、ブレーキの効き具合、ブレーキパットの磨耗、ブレーキオイルの漏れ、車体廻りのボルト、ナットの緩みがないか点検してください。

【燃料補正について】

■本商品は純正状態でカムのみを取り付けた場合には燃料補正は必要ありません。その他にエンジン部品（マフラー、ボアアップなど）を取り付けた場合には燃料補正が必要になる可能性があり、本来の性能を発揮することができなくなる恐れがありますので、必ずインジェクションコントローラなどで燃料補正を行ってください。

→別途、販売しております弊社製インジェクションコントローラーを取り付けていただくと、車両の仕様に合った MAP を選択するだけで簡単に燃料補正を行うことができます。

※弊社以外のインジェクションコントローラーでは、マップをご自身で製作する必要がありますのでご注意ください。

【エンジンの始動について】

■焼き付き、かじり等の防止のため、シリンダーヘッドまでオイルが十分に行き渡るように、以下の手順でオイル上げ作業を行ってください。

- ・エンジンの負担を軽くするために、スパークプラグを外した状態でクランキング（空回し）を行います。
- ・数分間放置した後、オイルレベルを点検し、オイルが足りない場合は補充します。

規定トルクについて

●標準規定トルク

- ・6mmフランジボルト、ナット：12 N・m
- ・6mmボルト、ナット：10 N・m
- ・8mmフランジボルト、ナット：27 N・m
- ・8mmボルト、ナット：22 N・m

●その他の規定トルク

- ・タイミングホールキャップ：6.0 N・m
- ・クランクシャフトホールキャップ：8.0 N・m

